資料2-2

令和3年6月定例会(事前) 防災·感染症対策特別委員会資料 危機管理環境部

「徳島県国土強靱化地域計画」の改定(案)

【Ⅰ 取組の追加】

1 大規模自然災害が発生したときでも、すべての人命を守る

1-1)	住宅・建物・交通が	を設等の複合的∙፟ナ	に規模倒壊や不特別	官多数が集まる施 詞	殳の倒壊による多	多数の死傷者の発生					
				美	ミ施する取組						
 新規	大規模災害時における施設の倒壊・損傷に伴う死傷者の発生を防止するため、県営住宅の老朽化対策を推進する。										
		重要業	績指標		目標(案)	取組内容					
目標追加	「県営住宅長寿命	化計画」に基づく老	だ朽化対策を実施し	た住棟数	<u>10棟</u> (R4)	大規模災害発生時において、老朽化に起因する施設の倒壊・損傷に伴う 死傷者の発生を防止するため、長寿命化対策工事を実施する。					
坦加	現況	- (R2)	目標	一(新規)	<u>(N4)</u>						
1 0)	\ 	1# ' ユ'カケ ル レフ <i>の</i>	7 ** 0 〒 / 2 0 2 1	<u> </u>							
1-3)) 仏域にわたる人が	見候津波寺による多	る数の死傷者の発生 	<u> </u>							
				美	ミ施する取組						
新規	規大規模災害時における施設の倒壊・損傷に伴う死傷者の発生を防止するため、県営住宅の老朽化対策を推進する。										
		重要業	績指標		目標(案)	取組内容					
目標追加	「県営住宅長寿命	化計画」に基づく老	が おれ対策を実施し -	た住棟数(再掲)							
ᄺᄱ	現況	- (R2)	目標	一(新規)							

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

	2-1)	-1)被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止									
			実施する取組								
-11.7	新規	リタイアインフラを、災害時に全国からの支援物資を中継する「広域物資輸送拠点」を前提に、平時でも県民が気軽に利用できる施設として改修する。									
			重要業	績指標		目標(案)	取組内容				
	目標追加	「広域物資輸送拠	点」の整備			<u>供用</u> (R4)	マリンピア沖洲「旧印刷センター」を、災害時に全国からの支援物資を中継する「広域物資輸送拠点」を前提に、平時でも県民が気軽に利用できる施設として改修する。				
	坦加	現況	— (R2)	目標	一(新規)	<u>(N4)</u>					

2-	-2))多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生								
	実施する取組									
新規	f規 海部郡北部における耐震強化岸壁の整備の空白地帯を解消するため、日和佐港(恵比須浜)において岸壁耐震化を推進する。									
			重要業	績指標		目標(案)	取組内容			
目追		日和佐港(恵比須	浜)の岸壁耐震化(の推進		<u>工事推進中</u> (R4)	日和佐港(恵比須浜)において耐震強化岸壁を整備するため、調査設計及び工事を推進する。			
	./JLI -	現況	— (R2)	目標	一(新規)	<u>(R4)</u>				

7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない

7	7-3)沿線・沿道の建物倒壊に伴う閉塞等による交通麻痺											
			実施する取組									
新	規	大規模災害時にお	た規模災害時における施設の倒壊・損傷に伴う死傷者の発生を防止するため、県営住宅の老朽化対策を推進する。									
			重要業	績指標		目標(案)	取組内容					
	目標	「県営住宅長寿命	化計画」に基づく老	朽化対策を実施し	た住棟数(再掲)							
	므ᄱ	現況	- (R2)	目標	一(新規)							

【Ⅱ 取組の見直し】

1 大規模自然災害が発生したときでも、すべての人命を守る

1	—1)	住宅・建物・交通	徳設等の複合的・プ	、規模倒壊や不特別	足多数が集まる施設	2の倒壊による3	数の死傷者の発生			
					美	施する取組				
大規模地震発生時の建物被害による死者ゼロを目指すため、世帯の状況に応じたきめ細やかな啓発活動や人材育成に努めるとともに、原 修正										
			重要業	績指標		目標(案)	取組内容			
	目標 追加	大規模地震発生時 進	持の建物被害による	る死者ゼロを目指す	ための取組の推	<u>推進</u> (R4)	住宅の耐震化や家具固定など地震被害を最小限にする減災化をはじめとして世帯の状況に応じた対応を図る。			
1	므꼐	現況	- (R2)	目標	一(新規)	<u>(R4)</u>				
1.	-2)	密集市街地や不特定多数が集まる施設における大規模火災による多数の死傷者の発生								
		実施する取組								
修	大規模地震発生時の建物被害による死者ゼロを目指すため、世帯の状況に応じたきめ細やかな啓発活動や人材育成に努めるとともに、県及び市町村 している支援の充実を図る。									
			重要業	績指標		目標(案)	取組内容			
E	目標	大規模地震発生時進(再掲)	時の建物被害による	る死者ゼロを目指す	ための取組の推					
"	ᆸᄱ	現況	- (R2)	目標	一 (新規)					

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

2-	5)医療施設及び関係	系者の絶対的不足	・被災、支援ルート	、エネルギー供給の	D途絶による医療	機能の麻痺			
				美	ミ施する取組				
修正	各災害医療圏域に	こ「災害リーダー薬	局」を設置するとと	もに、訓練や研修へ	への参加により、	更なる医薬品供給体制の向上を図る。			
		重要業	績指標		目標(案)	取組内容			
目相追力	票 災害リーダー薬局	め資質向上のため	の研修・訓練の実	·····································	<u>1回以上</u> (R4)	医薬品供給体制の向上に向け、「災害リーダー薬局」の資質向上のため の研修・訓練を年1回以上実施する。			
	現況	1回以上 (R2)	目標	一(新規)	<u>(N4)</u>				
修正	災害時おくすり供	給車両を導入する	とともに、研修・訓絲	東において活用し,]	更なる医薬品供終	合体制の向上を図る。			
		重要業	績指標		目標(案)	取組内容			
目相追力	亦	ț給車両」の研修·詞	川練での活用		<u>2回以上</u> (R4)	医薬品供給体制の向上を図るため、「災害時おくすり供給車両」を研修・ 訓練において年2回以上活用する。 			
	現況	2回以上 (R2)	目標	一(新規)	(1147				
2-	6)被災地における原		 発生						
				美	ミ施する取組				
修正	各災害医療圏域に	各災害医療圏域に「災害リーダー薬局」を設置するとともに、訓練や研修への参加により、更なる医薬品供給体制の向上を図る。							
		重要業	績指標		目標(案)	取組内容			
目相追力	ー _票 災害リーダー薬局	ーーー めの資質向上のため	の研修・訓練の実	施(再掲)					
追/	現況	1回以上 (R2)	目標	一(新規)					

2-7	2-7) 劣悪な避難生活環境・トイレ環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・災害関連死の発生									
		実施する取組								
修正	災害時おくすり供	災害時おくすり供給車両を導入するとともに、研修・訓練において活用し、更なる医薬品供給体制の向上を図る。								
		重要業	績指標		目標(案)	取組内容				
目標追加	' 	キ給車両」の研修・ 訓	練での活用(再掲)						
	現況	2回以上 (R2)	目標	一(新規)						

7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない

7-3	7-3)沿線・沿道の建物倒壊に伴う閉塞等による交通麻痺								
				美	尾施する取組				
修正	大規模地震発生 している支援の充		らかな啓発活動や人材育成に努めるとともに、県及び市町村で実施						
		重要業	績指標		目標(案)	取組内容			
目標追加	大規模地震発生的進(再掲)	寺の建物被害による	る死者ゼロを目指す	ための取組の推					
	現況	- (R2)	目標	一(新規)					

【Ⅲ 重要業績指標の見直し】

1 大規模自然災害が発生したときでも、すべての人命を守る

1-4	1-4) 突発的又は広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生								
	重要業績指標					取組内容			
	老朽化対策に着引 施設、漁港施設)	€した施設数(排水 [×]	機場、橋梁、トンネル	レ、都市公園、港湾		老朽化した橋梁、トンネル、河川施設排水機場、都市公園、港湾施設岸壁、漁港施設岸壁等の修繕に着手する。			
沙止	現況	392施設(H30)	目標	495施設 (R4)	<u>(114)</u>				

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

0 1	は≪生なの会と					
2-1,	恢火地での良料	飲料水・電力・燃料		初貝・エイル十一	1	T
		重要業	績指標		目標(案)	取組内容
目標修正	「自立分散型電源	」導入支援制度の創	割設		<u>創設</u> (R4)	四国電力や金融機関と連携したワンストップサービスによる「自立分散型電源」導入支援制度を創設、実施するとともに、県の補助金、貸付金及び国補助金を活用し、「自立・分散型電源」の普及拡大を図る。
11多11	現況	— (H30)	目標	創設 (R1)	<u>(R4)</u>	o I iii sha i i i i i i i i i i i i i i i i i i i
2-3	自衛隊、警察、消	防、海保等の被災	等による救助・救急	急活動等の絶対的な	不足	
	重要業績指標				目標(案)	取組内容
目標	「全国女性消防団	員活性化徳島大会	この誘致		<u>開催</u> (R3)	「全国女性消防団員活性化徳島大会」を誘致し、開催する。
	現況	— (H30)	目標	開催 (R2)	<u>(K3)</u>	
2-6	被災地における感	染症等の大規模外	 送 生			
		重要業	績指標		目標(案)	取組内容
目標修正	被災時の避難場所 チーム」研修会・訓	所における感染症剤 ∥練の実施	き生防止「とくしま災	(害感染症専門	継続して実施	災害時の避難所において、高い専門性を活かして初期段階から衛生状 況等を把握し、助言・指導を行う「とくしま災害感染症専門チーム」を養原
沙山	現況	実施 (H30)	目標	継続して実施	<u>(R2)</u>	する。
2-7) 劣悪な避難生活斑	環境・トイレ環境、不	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 こよる多数の被災者	 舌の健康状態の思	悪化・災害関連死の発生
		重要業	績指標		目標(案)	取組内容
目標修正	被災時の避難場所 チーム」研修会・訓	所における感染症剤 ∥練の実施(再掲)	き生防止「とくしま災	(害感染症専門		
沙正	現況	実施 (H30)	目標	継続して実施]/	

6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

6-1) 電源供給ネットワーク(発変電所、送配電設備) や都市ガス供給、石油・LPガスサプライチェーン等の長期にわたる機能の停止

' '		八九叉电师、丛	也电欧洲/(部门)		737 () 2)) =	- フサの政別に小だの機能の行业
		重要業	績指標		目標(案)	取組内容
目標修正	社会福祉施設にお	おける非常用自家発	き電設備の整備		<u>促進(R4)</u>	災害時の非常用電源を確保するため、非常用自家発電設備の整備を促進する。
	現況	— (H30)	目標	促進 (R1)		
目標修正	「自立分散型電源	」導入支援制度の創	· 創設(再掲)		<u>創設</u> (R4)	四国電力や金融機関と連携したワンストップサービスによる「自立分散型 電源」導入支援制度を創設、実施するとともに、県の補助金、貸付金及 び国補助金を活用し、「自立・分散型電源」の普及拡大を図る。
11念正	現況	—(H30)	目標	創設 (R1)	<u>(K4)</u>	0 2 1111/13 2 C/2/10 (

8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

- 8-1)大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態
- 8-4) 貴重な文化財や環境的資産の喪失、有形・無形の文化の衰退・損失
- 8-5) 基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態

	重要業	績指標		目標(案)	取組内容
老朽化対策に着手施設、漁港施設)(した施設数(排水を 再掲)	機場、橋梁、トンネノ	レ、都市公園、港湾		
現況	392施設(H30)	目標	495施設 (R4)		

8-6)事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態 重要業績指標 目標(案) 取組内容 被災後の余震等による建築物の倒壊や建築物の一部分の落下等の危 一被災建築物応急危険度判定士の確保人数 目標 険性をできる限り速やかに判定するため、「被災建築物応急危険度判定 820人 士」を確保する。 修正 (R4) 日標 現況 586人 (H30) 740人 (R4)

●横断的分野の推進方針

長寿命化対策分野						
	重要業績指標				目標(案)	取組内容
目標修正	老朽化対策に着手した施設数(排水機場、橋梁、トンネル、都市公園、港湾施設、漁港施設)(再掲)					
	現況	392施設(H30)	目標	495施設 (R4)		
人材育成分野						
	重要業績指標				目標(案)	取組内容
目標修正	「全国女性消防団員活性化徳島大会」の誘致(再掲)					
	現況	— (H30)	目標	開催 (R2)		
目標修正	被災建築物応急危険度判定士の確保人数(再掲)					
	現況	586人(H30)	目標	740人 (R4)		